



日本では10月に入りようやく秋の季節を感じられる様になってきました。佐奈川の彼岸花は、この夏の猛暑に耐えて今年は例年より花の数が少ないようです。

10月13日に閉幕した大阪関西万博は盛況でした。しかしながらITを駆使し「並ばない万博」をPRしていましたが1日20万人以上の来場者に予約サイトのシステムが機能できずに多くの課題も生じました。そこで55年前の大坂万博はどうだったのかと調べたところ、なんと最大1日83万人の来場者だったとのことです。携帯電話もインターネットもない55年前に今回の4倍もの来場者が万博会場に集まり、どうやってパビリオンを楽しんでいたのか?今年の混雑状況を見る限り簡単には想像できませんでした。そこで、いくつかの点で当時の人たちの感覚や行動が現代の私たちとは違いがあるのではと推測してみました。

1つ目は不便や不快に対する考え方です。待ち時間や混雑など現代社会において不便や不快はできるだけ避けるべきものという感覚がありますが、当時はある程度の不便は当たり前で不便さを楽しむという感覚だったのかもしれません。現に当時の万博のテーマ「人類の進歩と調和」ではなく「人類の辛抱と長蛇」と揶揄されてもいたそうです。

2つ目は情報量と行動力の変化です。現代の情報過多の世の中で私たちは時に「計画依存」になり過ぎているとも言われています。一方限られた情報の55年前では「現場対応力」が不可欠だったと推測できます。紙の地図を見て人に聞き助け合うなど、行動力で少ないアナログ情報を集めて計画の修正や判断することが求められていました。

2025年度 下期が始まりました

株式会社トヨテック
代表取締役社長

小野 理

最後は危機管理力の違いです。現代社会はイベントや社会システムの安全や危機管理は運営者が責任をもつというのが常識です。その為には多くの費用も必要になります。しかし当時はリスク管理も人の手によるものが多く、最終的な危機管理は「自分たちでなんとかする」という考え方も必要でした。

いざれにしろ、当時は高度経済成長期の真っ只中であり社会全体の熱気の中で前例のない大イベントでした。訪れる人もきっと違しかったということが想像できます。一方現代の私たちは日々進化するITやAIを駆使し、本来人間がやるべき本質をさらに磨いていく必要があると思います。今回の万博のキャラクター「ミャクミャク」は当初酷評されていましたが、今では大変な人気となっています。これも人のつながりによるSNSの効果と思われる現象です。ちなみに1970年の万博ではキャラクターが存在しなかったそうです。

最後に、10月に入りました。業務においては25年度の下期が始まりました。そして来月には(株)トヨテックが創立65周年を迎えます。会社も設備やツールは進歩だけでなく、先人たちの熱気と行動力を受け継ぎ発展することが求められています。どうぞよろしくお願ひいたします。



佐奈川に咲く彼岸花

経営計画会議

10月13日（月）午前9時より、経営計画（中間）会議が開催されました。トヨーサークル本部大会議室を発表会場とし、豊川市の各地区、大分工場、中国工場、フィリピン工場はオンラインで参加しました。各社代表および部門長、部長、副部長合わせて約40名が出席し、上期実績の分析から計画達成に向けた施策、投資、教育について発表しました。



トヨテック 一宮工場 × トリックスプロシード [合同防災訓練]

10月1日（水）午前10時15分よりトヨテック一宮工場において、トリックスプロシード株式会社との防災訓練が実施され、地震を想定した避難訓練と、防火管理者による防災勉強会が行われました。



地震の基礎知識

地震はいつ起こるかわかりません。家の中にいたら…、車の中にいたら…、どんな時でもとっさに対応できるように、今地震が起きたら、という事を考えながら行動する習慣をつけましょう。

屋内で起きたとき

家の中

- 揺れを感じたら、丈夫なテーブル等の下に隠れて身を守る。
- 裸足で歩きまわらない（ガラスの破片などでケガをする）。



集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- エレベーターは使わない。
- 炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

屋外で起きたとき

路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。



運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、道路の左側に停め、エンジンを切る。



ストレス対処法としての生活習慣

— 食う・寝る・遊ぶ の充電法 —

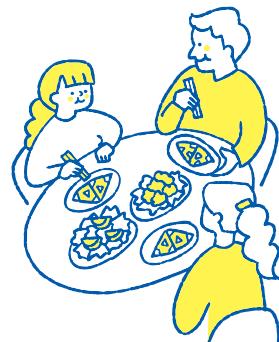
多かれ少なかれ誰しもがストレスを抱えていますが、ストレスをためやすいかどうかには個人差があります。一般的に、頑張りすぎてしまう「完璧主義の人」や「まじめすぎる人」、何事にも否定的で「ちょっとしたことで自分を責めてしまう人」は、ストレスをためやすいと言われています。

ストレスと上手に付き合っていくコツは、自分の「ストレスに気づく」ことです。ストレスがたまっていることにいち早く気づけられれば、適切な対応をとることができます。

今回は、食う・寝る・遊ぶの3つの充電機能を上手に使って、ストレスに対処し、毎日を健康に過ごすためのポイントについて紹介します。

食べる 食事を楽しむ

美味しい食事を内装や景色が綺麗な場所で、楽しい相手と一緒に摂る、というように、良いことを重ねていくと食事がより美味しく感じられたり、いつもよりリフレッシュできたりと、メンタルヘルスにも良い影響を与えることができます。



寝る 良質な「睡眠」をとる

毎日をすこやかに過ごすための睡眠5原則

1. 十分な睡眠時間を確保
2. 光・温度・音に配慮した良い睡眠のための環境作りを心掛けて
3. 適度な運動、しっかり朝食、寝る前のリラックスで眠りと目覚めのメリハリを
4. カフェイン、お酒、たばこは控えめに
5. 眠れない、眠りに不安を覚えたら専門家に相談を

遊ぶ

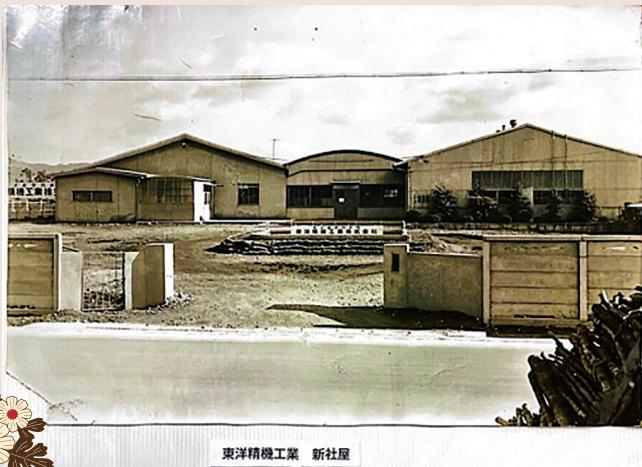
「興味・関心」のあることを楽しむ

ゲームや映画鑑賞など、自分が楽しいと思えるコンテンツを楽しむのも、よいストレス解消になります。また、リラックスできる穏やかな音楽を聴くのもおすすめです。雨音、波の音、小鳥のさえずりなどの環境音は、心を落ち着かせてくれます。その他には、本を読むことも高いリラックス効果を発揮します。



第2回

歴史を振り返る 創業時代の写真



昭和37年頃の東洋精機工業株式会社。現在のバローの場所に新工場として建てられた。右の建物は機械部品工場、中央の建物は事務室、左の建物は組立工場となっている。

豊川清掃の日

道路や公園、河川などのゴミを回収する「豊川市清掃の日」の取り組みの一環として、9月30日（火）、事業所周辺の地域清掃活動に人財開発部が参加しました。



愛の献血ありがとう

9月11日（木）午前9時より、トヨテック管理棟において献血が実施されました。今回は17名の善意をお届けすることができました。ご協力ありがとうございました。



発行所

トヨーサーカル 人財開発部・TOCOM 事務局
豊川市西豊町二丁目 35 番地
TEL 0533-85-1110(代表)